

## 大学生が制作した消費者啓発パネルを展示中！

奈良女子大学の消費者問題研究会 BEACS が、奈良県消費生活センターと連携し、消費者啓発パネルを作成しました。奈良県消費生活センターの啓発コーナーで5月24日から展示しています。

テーマは、高齢者の消費者トラブルです。近年、高齢者の消費者被害が増えており、平成26年度に奈良県消費生活センターが受けた4,550件の相談のうち、契約者の36%が60歳以上となっています。

パネルでは、奈良県で実際に起こっているトラブルの中で、高齢者に特に注意していただきたい4つの事例を取り上げています。

「催眠商法（SF商法）」「点検商法による住宅リフォームトラブル」

「投資詐欺～リニアモーターカー～」「光ファイバーの電話勧誘トラブル」

高齢者トラブルの特徴は、本人がトラブルにあっていることに気づかないことがあります。このパネルがきっかけとなり、本人や周りの人が被害に気づき、被害の未然防止や救済につながれば幸いです。

このように大学生が学んだ知識を元に、消費生活センターと連携し、被害防止のために社会に向けて発信したことは、「消費者市民」の行動といえるでしょう。

奈良県消費生活センターでは、自ら考え行動する自立した消費者の育成のために、消費者教育を推進して参ります。

\*奈良女子大学消費者問題研究会 Beacs=Bunka enlightening activity consumers

奈良女子大学生活環境学部生活文化学科の学生有志による消費者啓発グループ

2016年3月より活動開始

